

2025年12月3日

【2027年卒 インターンシップ・就職活動準備に関する調査】 インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムへの参加状況 (9月時点)

学生が参加したインターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの件数全体のうち
実施期間が「半日」と「1日」のプログラムが83.0%を占める

株式会社インディードリクルートパートナーズ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）のリサーチセンターは、学生調査モニターの大学生・大学院生を対象に「2027年卒 インターンシップ・就職活動準備に関する調査」を実施いたしました。このたび調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

<解説：リサーチセンター 上席主任研究員 栗田 貴祥>

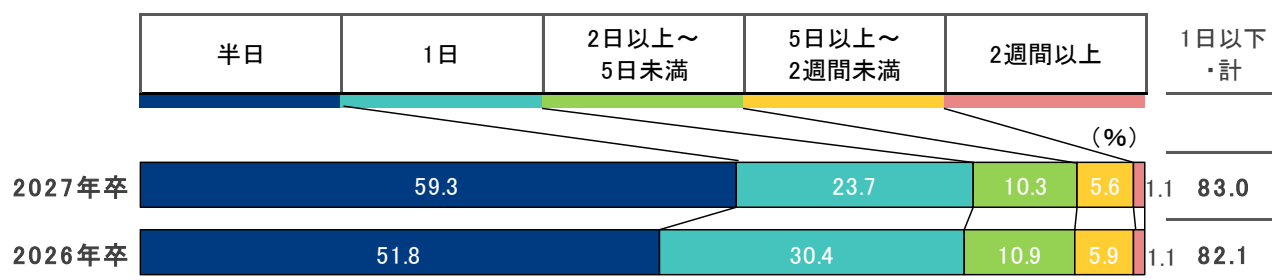


今回の調査では2027年卒学生のインターンシップ等のキャリア形成支援プログラムへの参加状況について調査しました。本調査では、オープン・カンパニー（タイプ1）、キャリア教育（タイプ2）、インターンシップ（タイプ3・タイプ4）を「インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム」として調査を行っています。9月時点でインターンシップ等のキャリア形成支援プログラムに参加した学生は74.2%、平均参加社数は6.30社でした。参

加件数全体におけるプログラム期間の割合は、1日以下のプログラムが83.0%で大半を占めました。インターンシップ等に参加した学生からは「業務理解や企画立案などの実際に社員が行っている仕事内容を知ることができたのは貴重な経験だと思う」「実際の職場の雰囲気を肌で感じられた。授業や資料だけでは分からない業務の流れや社員同士のやり取りを近くで見ることができ、将来働く自分の姿を具体的に想像するきっかけになった」といった参加の手応えを示す声が聞かれました。今後も、キャリア形成支援プログラムが開催される見込みです。学生の皆さんは、キャリア形成支援プログラムを仕事内容や職場への理解を深める機会として活用し、引き続き今後のキャリアについて検討を進めていただければと思います。

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム 参加件数全体におけるプログラム期間の割合

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む/数値回答)



本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.indeedrecruit-partners.co.jp/support/form>

調査概要

■2027年卒 インターンシップ・就職活動準備に関する調査

調査目的：2027年卒学生のインターンシップ・就職活動準備の現状を把握する

調査方法：インターネット調査

調査対象：『リクナビ』（※）会員より、2027年3月までに卒業予定の大学生および大学院生

調査期間：2025年9月21日～10月8日

回答者数：大学生 434人 大学院生 93人

集計方法：大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体を基に、実際の母集団の構成比に近づけるよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行っている

※リクナビ：株式会社リクルートが運営している、就職活動を支援するサイト

<https://job.rikunabi.com/n/>

≪調査結果を見る際の注意点≫

- ・%を表示する際に小数第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合がある
- ・データは無回答サンプルを除いて集計している
- ・2027年卒業を「2027年卒」と表記

≪調査の集計について≫

- ・「2025年9月時点での進路の志望状況」で①～⑥のいずれかを選択した回答者を「就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む」として集計する

2025年9月時点での進路の志望状況（大学生/複数回答）

	n数	① まだ 志望進路を 決めていない	② 民間企業に 就職したい	③ 公務員として 就職したい	④ 教員として 就職したい	⑤ 医師・ 歯科医師・ 看護師として 就職したい	⑥ 公務員・ 教員・医師・ 歯科医師・ 看護師以外で 民間企業では ない組織・団体 に 就職したい	⑦ 起業したい	⑧ 大学院等へ 進学したい	⑨ 留学したい	⑩ 留年するので 卒業しない	⑪ その他
卒業後の 志望進路	437	12.5%	72.9%	19.6%	3.2%	1.0%	4.9%	1.1%	8.5%	1.0%	-	1.0%

■掲載内容

- P.4 インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムへの応募・参加割合
- P.5 インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムへの応募・参加状況
- P.6 プログラム期間別参加状況、参加件数全体におけるプログラム期間の割合
- P.7 インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムへの時期別参加状況
- P.8 インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムに初めて応募した時期・初めて参加した時期
- P.9 インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの不参加理由
- P.10 インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの期間別参加目的
- P.11 インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの期間別プログラム内容
- P.12 インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの期間別良かった点
- P.13 インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの期間別満足度
- P.14 インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの良かった点・追加要望
- P.15-17 インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加後の現在の状況

株式会社インディードリクルートパートナーズについて

株式会社インディードリクルートパートナーズは、リクルートグループのグループ会社として、人材メディア事業の販売代理店機能、人材紹介事業等を担っております。当社は、リクルートグループの事業戦略である「Simplify Hiring」の推進を加速するため、HRテクノロジーSBUの一部として2025年4月1日より運営を開始いたしました。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/>

インディードリクルートパートナーズ：<https://www.indeedrecruit-partners.co.jp/>

(参考) インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの全体像 (25年卒から適用)

- タイプ1～4はキャリア形成支援の取り組みであって、採用活動ではない。
学生は改めて採用選考のためのエントリーが必要
- タイプ3ならびにタイプ4のみ、取得した学生情報の採用活動への活用は、「採用活動開始以降に限り、可」

類 型		タイプ 1 オープン・カンパニー ※オープン・キャンパスの企業・業界・仕事版
対 象		年次不問
主たる 目的	学 生	企業・業界・仕事を具体的に知る
	大学／ 企業	企業・業界・仕事への理解促進

類 型	タイプ2 キャリア教育 (プレ・インターンシップ を含む)	タイプ3 汎用的能力・ 専門活用型 インターンシップ	タイプ4 高度専門型 インターンシップ ※試行結果を踏まえ、 今後判断
対 象	年次不問	学部3・4年、修士1・2年、 博士課程学生	修士課程、博士課程学生
主たる 目的	学生	自らのキャリア (職業観・就業観)を考える	自らの専門性を実践で活かし、 向上させる (実践研究力の向上等)
	大学／ 企業	能力開発／ キャリア教育	今後拡大が見込まれる ジョブ型採用を見据えた 産学連携の大学院教育

※採用と大学教育の未来に関する産学協議会・報告書を基に就職みらい研究所にて作成

※出所『就職白書2025』

<インターンシップと称するための5要件>

1. 実施期間の半分を超える日数を職場での就業体験に充てる (就業体験要件)
2. 職場の社員が学生を指導し、学生に対しフィードバックを行う (指導要件)
3. 汎用的能力活用型は5日間以上。専門活用型は2週間以上 (実施期間要件)
4. 学業との両立の観点から、長期休暇期間 (夏休み、冬休み、入試休み・春休み)
ただし、大学正課および博士課程は、長期休暇に限定されない (実施時期要件)
5. 次の①～⑨に関する情報が募集要項等に記載されていることが求められる (情報開示要件)
 - ①プログラムの趣旨 (目的)
 - ②実施時期・期間、場所、募集人数、選抜方法、無給/有給等
 - ③就業体験の内容 (受け入れ職場に関する情報を含む)
 - ④就業体験を行う際に必要な (求められる) 能力
 - ⑤インターンシップにおけるフィードバック
 - ⑥採用活動開始以降に限り、インターンシップを通じて取得した学生情報を活用する旨
(活用内容の記載は任意)
 - ⑦当該年度のインターンシップ実施計画 (時期・回数・規模等)
 - ⑧インターンシップ実施に係る実績概要 (過去2～3年程度)
 - ⑨採用選考活動等の実績概要 ※企業による公表のみ

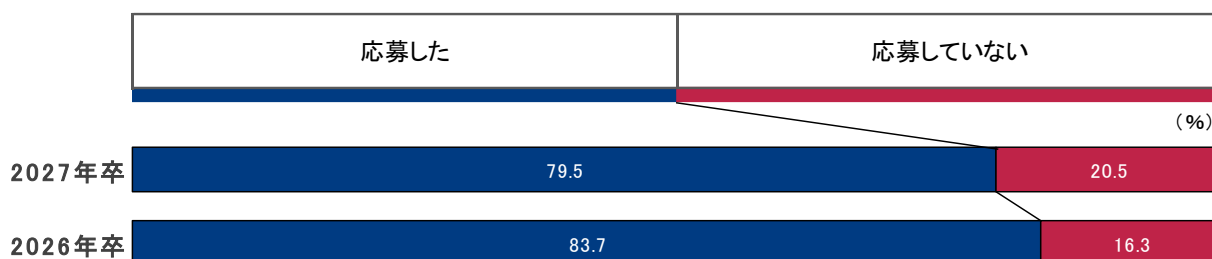
インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムへの応募・参加割合

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムに参加した学生は74.2%

- ・ インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムに応募した学生は、就職意向者（まだ志望進路を決めていない含む）全体のうち79.5%であった。
- ・ また、インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムに参加した学生は、就職意向者（まだ志望進路を決めていない含む）全体の74.2%であった。

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムへの応募割合

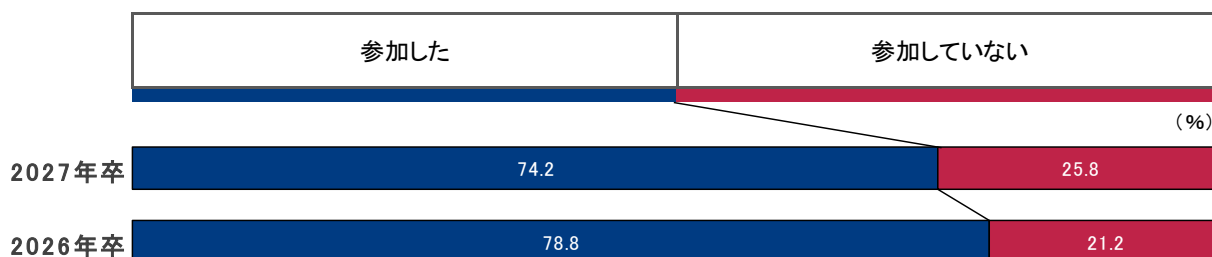
（大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む/数値回答）



※1社以上応募した学生を「応募した」として集計

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムへの参加割合

（大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む/数値回答）



※1社以上参加した学生を「参加した」として集計

補足：「インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム」は、「オープン・カンパニー（企業が主催するイベント・説明会など）、キャリア教育（大学や企業による教育プログラムなど）、インターンシップ」である旨を明示して聴取している

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムへの応募・参加状況

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムへの平均参加社数は6.30社

- ・ インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムへの平均応募社数は9.68社、平均参加社数は6.30社であった。

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムへの応募・参加状況

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む/数値回答)

▽2027年卒	経験割合(%)	平均数(社)
応募	79.5	9.68
参加	74.2	6.30

▽2026年卒	経験割合(%)	平均数(社)
応募	83.7	10.37
参加	78.8	5.75

※平均社数の集計対象は、1社以上応募した学生（応募平均数）
および1社以上参加した学生（参加平均数）

補足：「インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム」は、「オープン・カンパニー（企業が主催するイベント・説明会など）、キャリア教育（大学や企業による教育プログラムなど）、インターンシップ」である旨を明示して聴取している

プログラム期間別参加状況、参加件数全体におけるプログラム期間の割合

プログラム期間別の参加割合は、「半日」の割合が53.1%で最も高い

- プログラム期間別の参加状況を見ると、「半日」の割合が最も高く53.1%、次いで「1日」が44.3%であった。
- 参加件数全体におけるプログラム期間の割合を見ると、「半日」の割合が59.3%、「1日」の割合が23.7%と、1日以下のプログラムが83.0%で大半を占めた。

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムへのプログラム期間別参加状況

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む/数値回答)

▽2027年卒	経験割合(%)	平均数(件)
半日	53.1	5.69
1日	44.3	2.73
2日以上～5日未満	27.4	1.92
5日以上～2週間未満	18.6	1.52
2週間以上	2.0	2.77

▽2026年卒	経験割合(%)	平均数(件)
半日	53.4	4.66
1日	47.2	3.09
2日以上～5日未満	29.9	1.75
5日以上～2週間未満	18.8	1.50
2週間以上	4.0	1.36

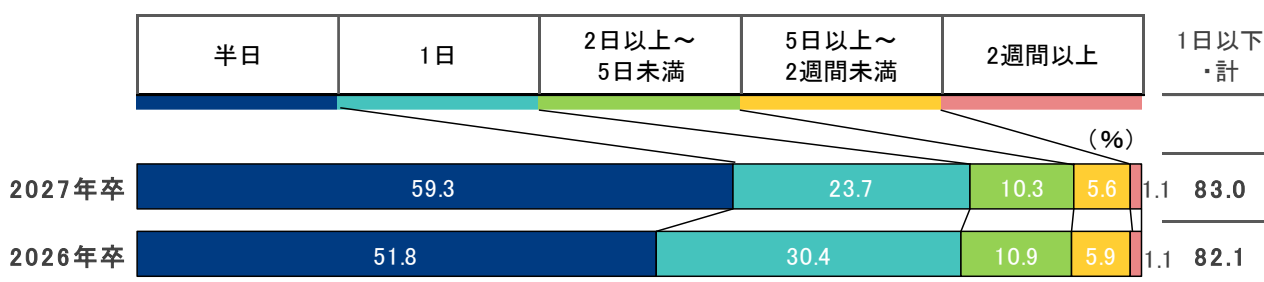
※平均件数の集計対象は、各日程のインターンシップ等のキャリア形成支援プログラムに1件以上参加した学生

※2027年卒、2026年卒の「2週間以上」は集計対象数が50に満たないため、数値は参考値

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム

参加件数全体におけるプログラム期間の割合（再掲）

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む/数値回答)



補足：「インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム」は、「オープン・カンパニー（企業が主催するイベント・説明会など）、キャリア教育（大学や企業による教育プログラムなど）、インターンシップ」である旨を明示して聴取している

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムへの時期別参加状況

時期別の参加状況は、2025年4月以降（大学3年次）に参加の割合が72.2%で最も高い

- プログラムへの時期別の参加状況を見ると、2025年4月以降（大学3年次）に参加している割合が72.2%、2024年4月～2025年3月（大学2年次）に参加した割合が8.5%であった。

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムへの時期別参加状況

（大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む/数値回答）

▽2027年卒

	経験割合(%)	平均数(件)
2023年4月～2024年3月 (大学1年次)に参加	3.5	2.11
2024年4月～2025年3月 (大学2年次)に参加	8.5	2.08
2025年4月以降 (大学3年次)に参加	72.2	6.72

※平均件数の集計対象は、1件以上参加した学生

※「2023年4月～2024年3月に参加」「2024年4月～2025年3月に参加」は集計対象数が50に満たないため、数値は参考値

▽2026年卒

	経験割合(%)	平均数(件)
2022年4月～2023年3月 (大学1年次)に参加	5.1	3.26
2023年4月～2024年3月 (大学2年次)に参加	7.0	3.47
2024年4月以降 (大学3年次)に参加	73.2	6.01

※平均件数の集計対象は、1件以上参加した学生

※「2022年4月～2023年3月に参加」は集計対象数が50に満たないため、数値は参考値

※「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」（通称、三省合意）が改正され、2023年4月以降に学生が参加するインターンシップをはじめとするキャリア形成支援に係る取り組みの取り扱いの考え方が変更となっている

補足：「インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム」は、「オープン・カンパニー（企業が主催するイベント・説明会など）、キャリア教育（大学や企業による教育プログラムなど）、インターンシップ」である旨を明示して聴取している

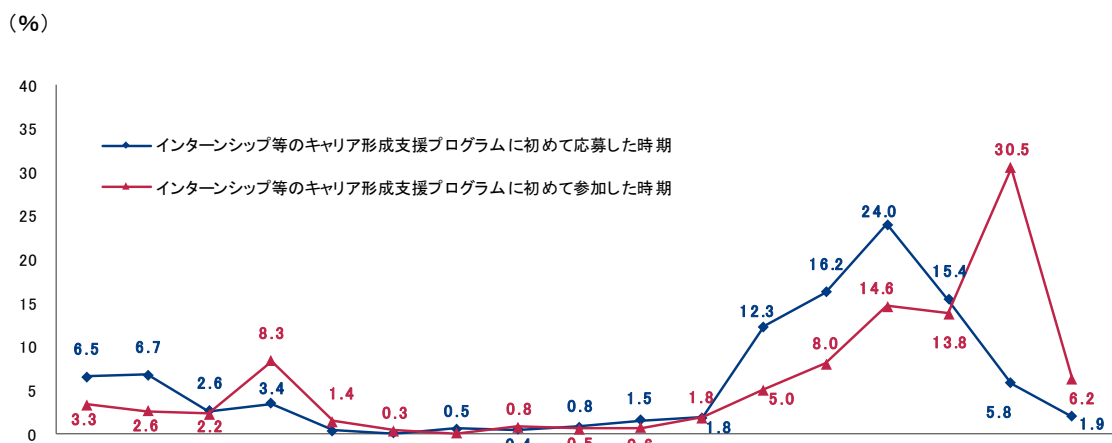
インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムに初めて応募した時期・初めて参加した時期

初めて応募した時期は2025年6月、初めて参加した時期は8月の割合が最も高い

- ・ インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムに初めて応募した時期は2025年の6月が最も高かった。
- ・ インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムに初めて参加した時期は2025年の8月が最も高かった。

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムに初めて応募した時期・初めて参加した時期

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム応募者および参加経験者/単一回答)



	卒業年次前々年												卒業年次前年					
	5月 以前	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
インターンシップ等の キャリア形成支援プログラムに 初めて応募した時期	6.5%	6.7%	2.6%	3.4%	0.3%	－	0.5%	0.4%	0.8%	1.5%	1.8%	12.3%	16.2%	24.0%	15.4%	5.8%	1.9%	
インターンシップ等の キャリア形成支援プログラムに 初めて参加した時期	3.3%	2.6%	2.2%	8.3%	1.4%	0.3%	－	0.8%	0.5%	0.6%	1.8%	5.0%	8.0%	14.6%	13.8%	30.5%	6.2%	

※調査開始日が9月21日であるため、卒業年次前年の9月は便宜的な集計上の区分としている

補足：「インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム」は、「オープン・カンパニー（企業が主催するイベント・説明会など）、キャリア教育（大学や企業による教育プログラムなど）、インターンシップ」である旨を明示して聴取している

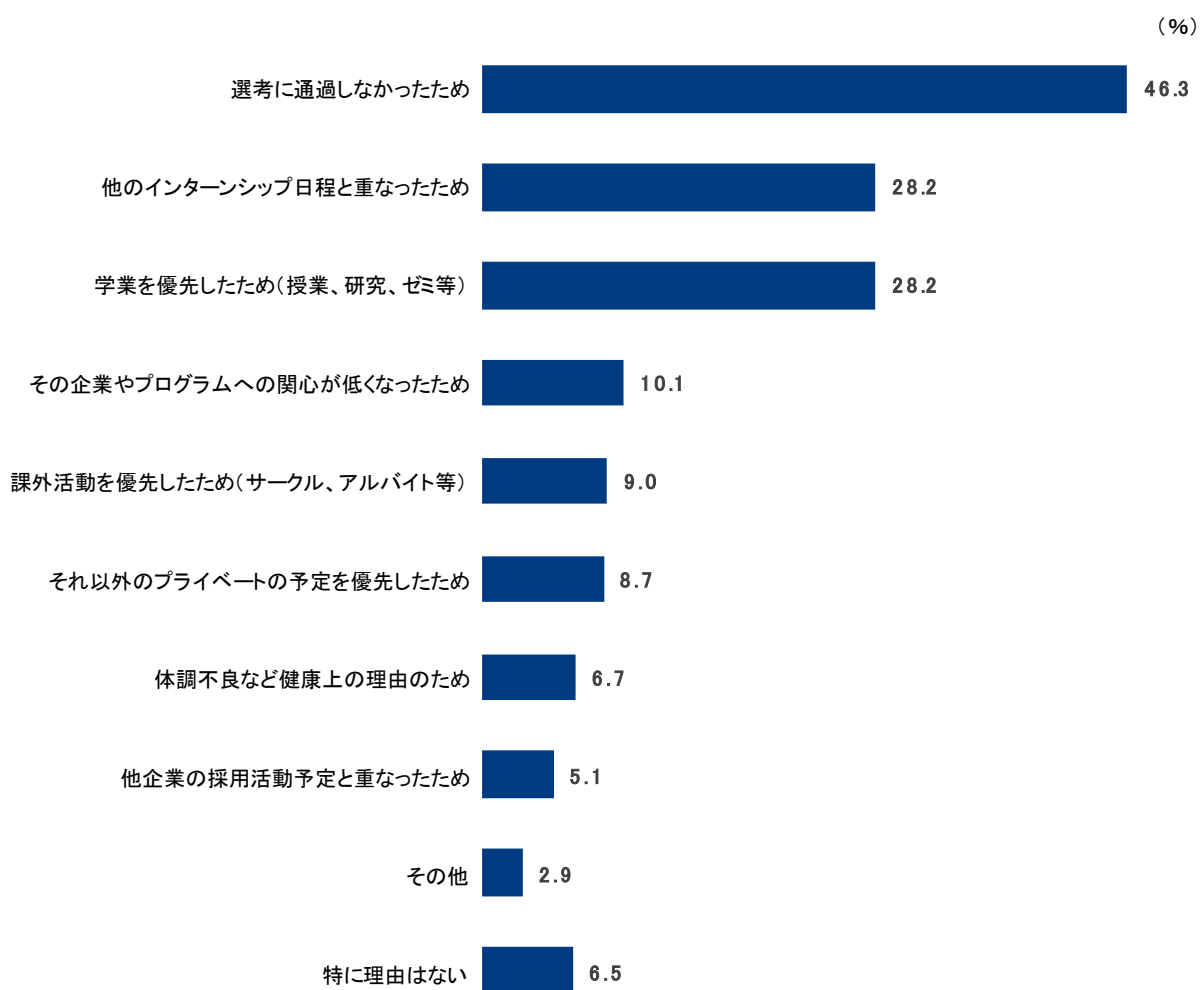
インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの不参加理由

プログラムの不参加理由は「選考に通過しなかったため」が46.3%で最も高い

- インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの不参加理由を聞いたところ、「選考に通過しなかったため」が46.3%と最も高く、次いで「他のインターンシップ日程と重なったため」「学業を優先したため（授業、研究、ゼミ等）」がいずれも3割程度であった。

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの不参加理由

（大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムへの参加件数が、応募件数を下回っている学生/複数回答）



※「その他」「特に理由はない」以外を数値の大きい順に掲載

補足：「インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム」は、「オープン・カンパニー（企業が主催するイベント・説明会など）、キャリア教育（大学や企業による教育プログラムなど）、インターンシップ」である旨を明示して聴取している

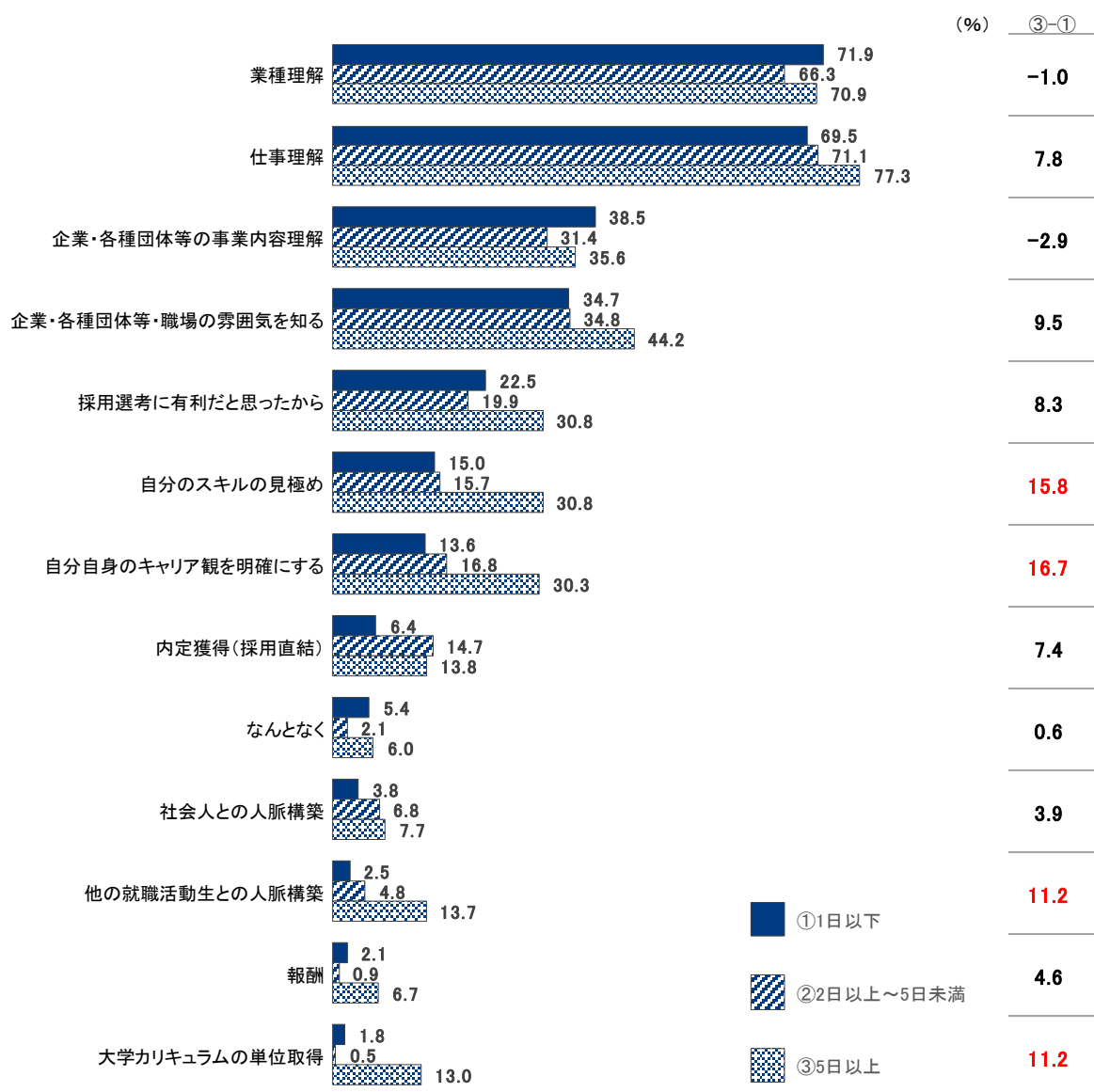
インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの期間別参加目的

「1日以下」と「5日以上」の差が最も大きい項目は「キャリア観を明確にする」

- ・ インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムへの参加目的を聞いたところ、「業種理解」「仕事理解」はプログラム期間に関わらず、いずれも6～7割台であった。
- ・ 「1日以下」と「5日以上」を比べて15ポイント以上の差があった項目は「自分自身のキャリア観を明確にする」「自分のスキルを見極め」であった。

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム期間別参加目的

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加経験者/インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加企業最大5社分についてそれぞれ複数回答で聴取したものを合計)



※「その他」「特に意識していた目的はなかった」は非表示

※10ポイント以上の差(ポイント)を赤字で表記

※「1日以下」の数値の大きい順に掲載

補足:「インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム」は、「オープン・カンパニー(企業が主催するイベント・説明会など)、キャリア教育(大学や企業による教育プログラムなど)、インターンシップ」である旨を明示して聴取している

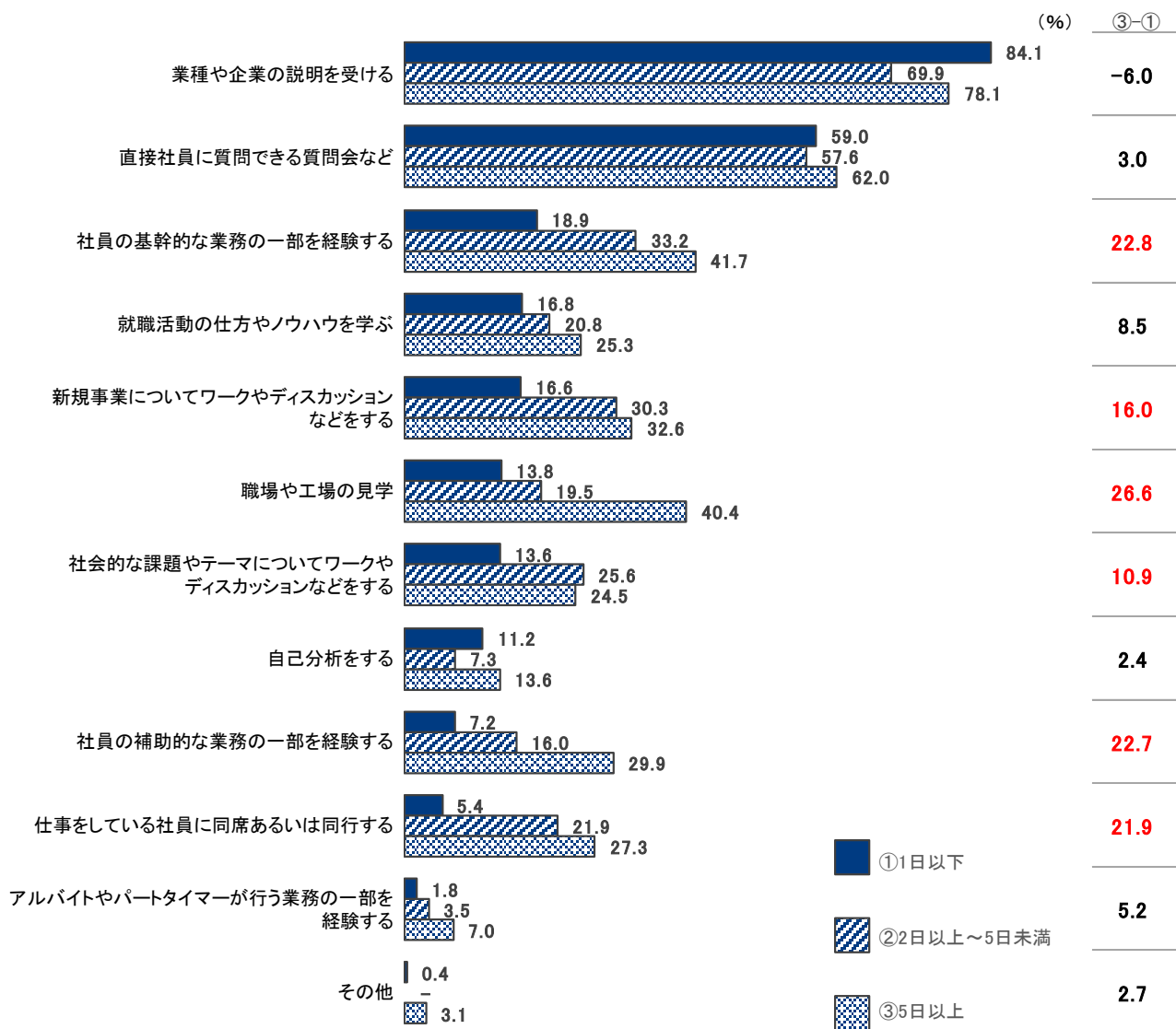
インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの期間別プログラム内容

業務の一部を経験したり見学したりできる内容の割合は、「5日以上」のプログラムの方がより高い

- ・ インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの期間別のプログラム内容を聞いたところ、「業種や企業の説明を受ける」の割合は、「1日以下」では84.1%であった。
- ・ また、「職場や工場の見学」「社員の基幹的な業務の一部を経験する」「社員の補助的な業務の一部を経験する」「仕事をしている社員に同席あるいは同行する」といった、業務の一部を経験したり見学したりできるプログラム内容の割合は、「1日以下」と比べて「5日以上」の方が高く、20ポイント以上の差があった。

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム期間別プログラム内容

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加経験者/
インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加企業最大5社分についてそれぞれ複数回答で聴取したものを合計)



※10ポイント以上の差 (ポイント) を赤字で表記
※「1日以下」の数値の大きい順に掲載

補足: 「インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム」は、「オープン・カンパニー (企業が主催するイベント・説明会など)」、キャリア教育 (大学や企業による教育プログラムなど)、インターンシップ」である旨を明示して聴取している

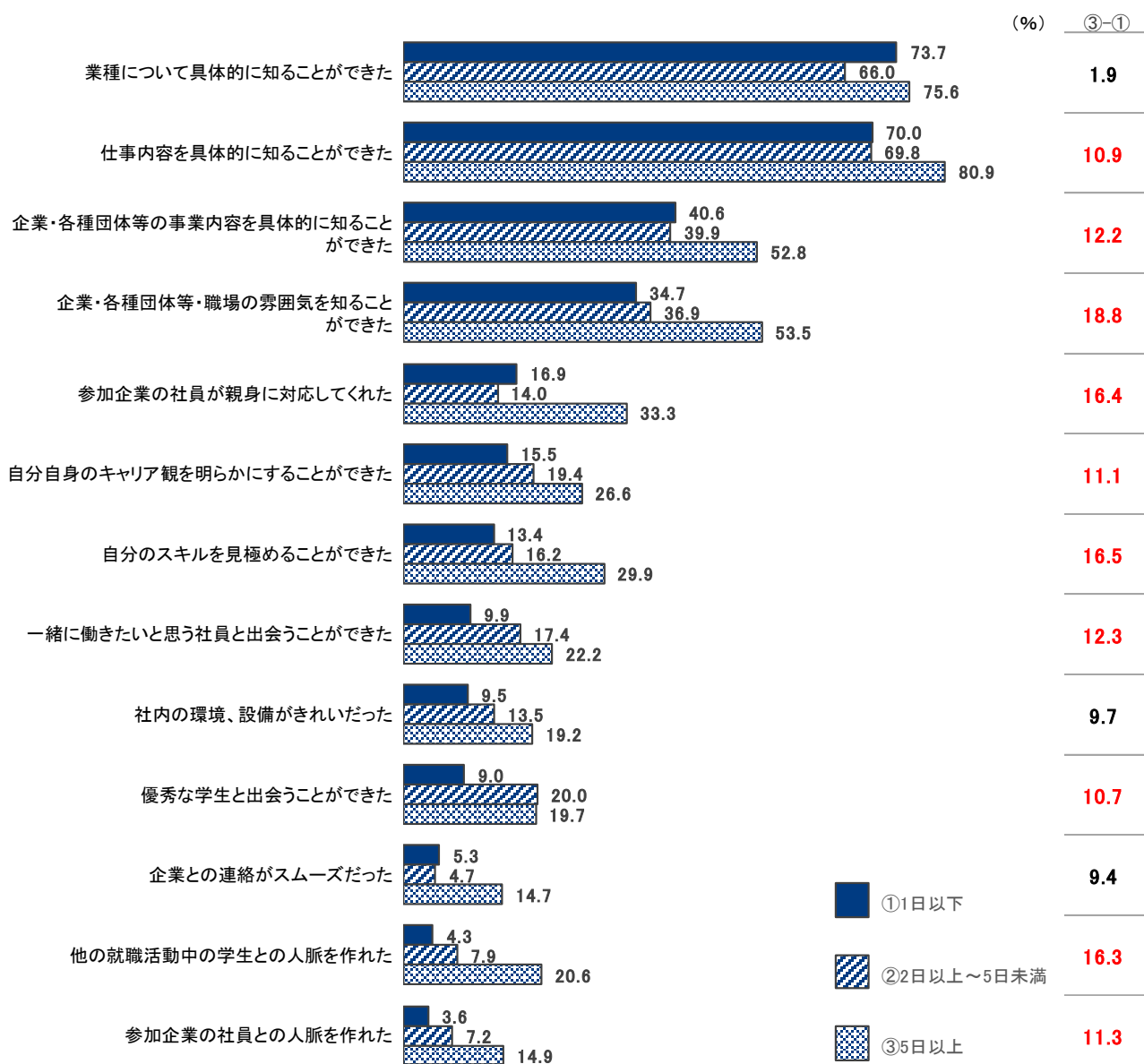
インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの期間別良かった点

参加して良かった点は、ほとんどの項目で「5日以上」のプログラムがより高い割合

- 参加したインターンシップ等のキャリア形成支援プログラムについて、それぞれの良かった点を聞いたところ、「業種について具体的に知ることができた」「仕事内容を具体的に知ることができた」の割合は、「1日以下」「5日以上」のいずれでも7割以上であった。
- 職場の雰囲気を知る、スキルを見極める、親身な対応などの項目は、「1日以下」に比べて「5日以上」の割合が高く、15ポイント以上の差があった。

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム期間別良かった点

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加経験者/インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加企業最大5社分についてそれぞれ複数回答で聴取したものを合計)



※「その他」「良かった点はなかった」は非表示

※10ポイント以上の差（ポイント）を赤字で表記

※「1日以下」の数値の大きい順に掲載

補足：「インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム」は、「オープン・カンパニー（企業が主催するイベント・説明会など）、キャリア教育（大学や企業による教育プログラムなど）、インターンシップ」である旨を明示して聴取している

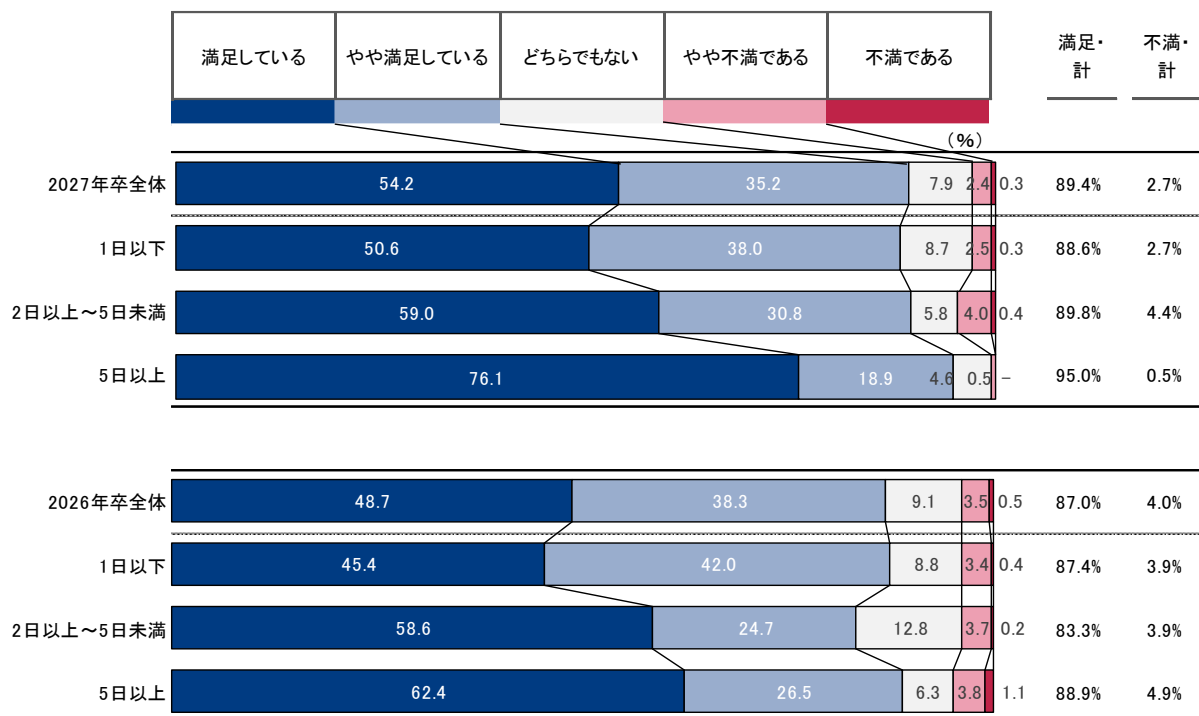
インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの期間別満足度

より長い期間のプログラムの方が「満足している」の割合が高い

- インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの参加後の満足度について、「満足している」と回答した割合は全体で54.2%。プログラム期間別に満足度を見ると、期間がより長い方が「満足している」と回答した割合が高い。

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム期間別満足度

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加経験者/インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加企業最大5社分についてそれぞれ単一回答で聴取したものを合計)



補足：「インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム」は、「オープン・カンパニー（企業が主催するイベント・説明会など）、キャリア教育（大学や企業による教育プログラムなど）、インターンシップ」である旨を明示して聴取している

良かった点として、仕事内容や職場に対する理解が深まったという声が聞かれた

- ・ インターンシップ等の良かった点としては、就業体験を通して自己理解が深まる、その会社のリアルな雰囲気や業務内容を具体的に感じられるという声が多く挙がった。
- ・ インターンシップ等のプログラムに対する追加要望としては、長期休暇中や土日、平日の短時間での開催を求める声が一定数あった。その他には、より短期・長期のプログラム開催を望む声や就業体験を含むプログラムの拡充を求める声が挙がった。

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムの良かった点（大学生・大学院生/自由回答）

コメント	大学生/ 大学院生	文理・性別	インターンシップ 等のキャリア形成支援 プログラム参加社数
業務理解や企画立案などの実際に社員が行っている仕事内容を知ることができたのは貴重な経験だと思う。	大学生	文系男性	2
ワークを通じて実際の業務体験をすることで、必要なスキルや向き不向き等を検討することができる点が良いと感じる。	大学生	文系女性	8
実際の職場の雰囲気を肌で感じられた。授業や資料だけでは分からない業務の流れや社員同士のやり取りを近くで見ることができ、将来働く自分の姿を具体的に想像するきっかけになった。	大学生	文系女性	5
実際に現地に赴くことで会社の雰囲気を直に感じることができ、就職後のイメージを膨らませることができた。	大学院生	理系女性	2
実務型のワークショップは、実際の仕事の様子が分かるだけでなく、自分自身の力試しができるから参加して良かった。	大学生	文系女性	2

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラムに対する追加要望（大学生・大学院生/自由回答）

コメント	大学生/ 大学院生	文理・性別	インターンシップ 等のキャリア形成支援 プログラム参加社数
長期休暇の時期はいつでも構わないが、授業がある時期は可能な限り土日、あるいは平日の短い時間に開催してほしい。	大学生	理系男性	3
1dayのプログラムしかない企業もあったため、もう少し日数を増やしてほしいと思った。	大学生	理系女性	4
業務理解をしたかったので実務に基づいた体験ができると良かったと思う。	大学生	文系女性	35
オンラインのイベントはやはり社内の雰囲気をつかむのが難しかったため、なるべく対面にしてほしいと感じた。	大学院生	理系男性	8
開催時期に関してもう少しフレキシブルだと良かった。	大学院生	文系女性	4

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加後の現在の状況

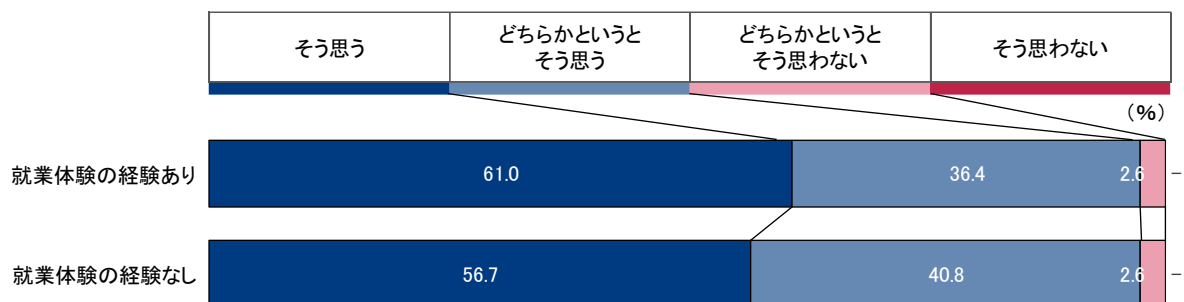
就業体験を経験することで、より業種理解が進み選択基準が明確になる傾向

- キャリア形成支援プログラム参加後の現在の状況を聞いたところ、「自己理解が進んだ」「業種理解が進んだ」「企業・各種団体等を選ぶ際の自分なりの基準が明確になった」のいずれでも、就業体験を含むプログラム参加経験ありの方が「そう思う」の割合が高かった。

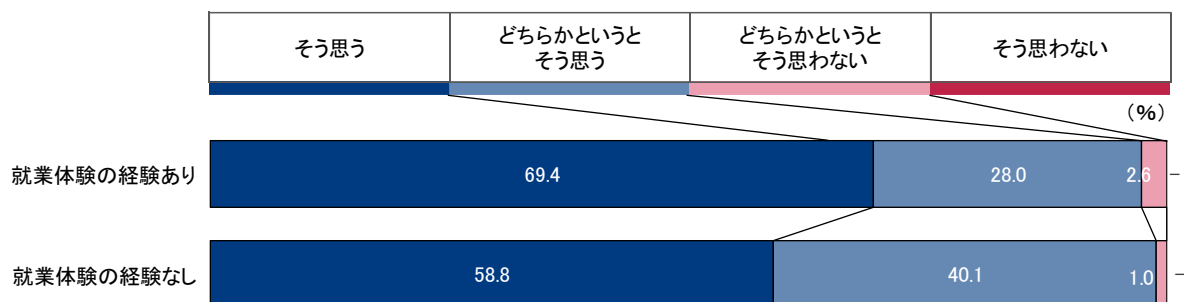
インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加後の現在の状況

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加経験者/単一回答)

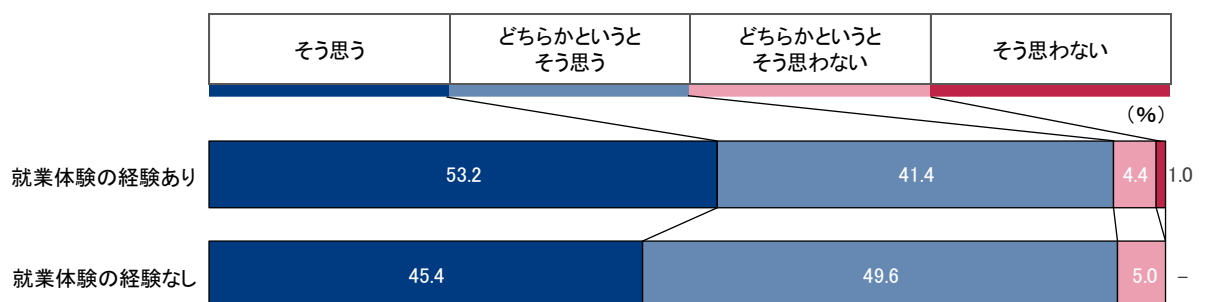
自己理解が進んだ



業種理解が進んだ



今後志望する企業・各種団体等を選ぶ際の自分なりの基準が明確になった



※「就業体験の経験あり」は、「仕事をしている社員に同席あるいは同行する」「社員の基幹的な業務の一部を経験する」「社員の補助的な業務の一部を経験する」「職場や工場の見学」のいずれかの内容を含むインターンシップ等のキャリア形成支援プログラムへの参加経験がある学生

※「就業体験の経験なし」は、「仕事をしている社員に同席あるいは同行する」「社員の基幹的な業務の一部を経験する」「社員の補助的な業務の一部を経験する」「職場や工場の見学」のいずれかの内容を含むインターンシップ等のキャリア形成支援プログラムへの参加経験がない学生

補足：「インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム」は、「オープン・カンパニー（企業が主催するイベント・説明会など）、キャリア教育（大学や企業による教育プログラムなど）、インターンシップ」である旨を明示して聴取している

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加後の現在の状況

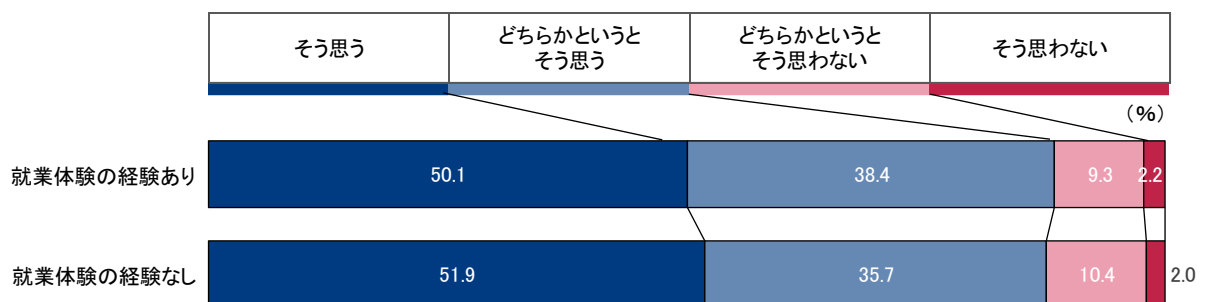
「社会人として働くイメージが湧いた、具体的になった（そう思う・計）」は8割超

- キャリア形成支援プログラム参加後の現在の状況で、「今後の就職活動に対して前向きな気持ちになった」「社会人として働くイメージが湧いた、より具体的になった」のいずれについても、就業体験を含むプログラム参加経験があるかないかに関わらず、「そう思う」「どちらかというと思う」を合わせた割合が8割を超えた。

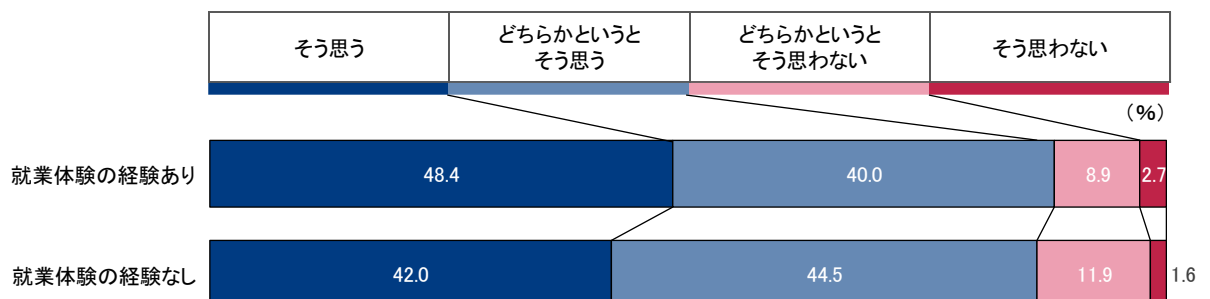
インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加後の現在の状況

（大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加経験者/単一回答）

今後の就職活動に対して前向きな気持ちになった



社会人として働くイメージが湧いた、より具体的になった



※「就業体験の経験あり」は、「仕事をしている社員に同席あるいは同行する」「社員の基幹的な業務の一部を経験する」「社員の補助的な業務の一部を経験する」「職場や工場の見学」のいずれかの内容を含むインターンシップ等のキャリア形成支援プログラムへの参加経験がある学生

※「就業体験の経験なし」は、「仕事をしている社員に同席あるいは同行する」「社員の基幹的な業務の一部を経験する」「社員の補助的な業務の一部を経験する」「職場や工場の見学」のいずれかの内容を含むインターンシップ等のキャリア形成支援プログラムへの参加経験がない学生

補足：「インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム」は、「オープン・カンパニー（企業が主催するイベント・説明会など）、キャリア教育（大学や企業による教育プログラムなど）、インターンシップ」である旨を明示して聴取している

インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加後の現在の状況

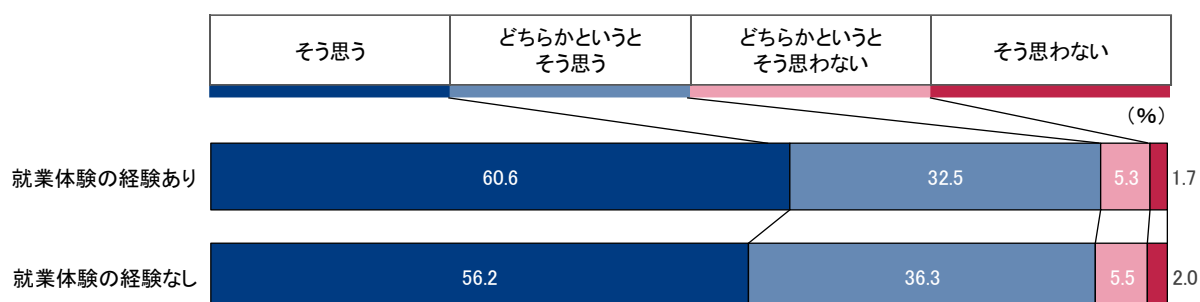
「参加企業・参加業界への志望度が高まった（そう思う・計）」は9割超

- キャリア形成支援プログラム参加後の現在の状況で、「参加企業への志望度が高まった」「参加業界への志望度が高まった」のいずれについても、就業体験を含むプログラム参加経験があるかないかに関わらず、「そう思う」「どちらかというと思う」を合わせた割合が9割を超えた。

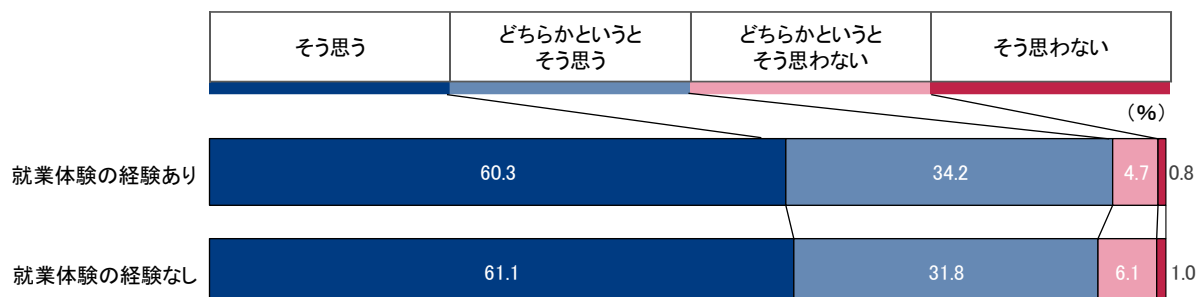
インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加後の現在の状況

（大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム参加経験者/単一回答）

参加企業への志望度が高まった



参加業界への志望度が高まった



※「就業体験の経験あり」は、「仕事をしている社員に同席あるいは同行する」「社員の基幹的な業務の一部を経験する」「社員の補助的な業務の一部を経験する」「職場や工場の見学」のいずれかの内容を含むインターンシップ等のキャリア形成支援プログラムへの参加経験がある学生

※「就業体験の経験なし」は、「仕事をしている社員に同席あるいは同行する」「社員の基幹的な業務の一部を経験する」「社員の補助的な業務の一部を経験する」「職場や工場の見学」のいずれかの内容を含むインターンシップ等のキャリア形成支援プログラムへの参加経験がない学生

補足：「インターンシップ等のキャリア形成支援プログラム」は、「オープン・カンパニー（企業が主催するイベント・説明会など）、キャリア教育（大学や企業による教育プログラムなど）、インターンシップ」である旨を明示して聴取している